

企業研究

株式会社USEN

エンターテインメントコンテンツ配信を見据えて次々に資本提携

首都圏の集合住宅を中心にFTTHサービスを展開してきたUSENは、昨年から今年にかけて数々の資本提携を行っている。今後はブロードバンド環境でのコンテンツ配信サービスにも注力し、特にエンターテインメント系のデジタルコンテンツ事業を展開していく。

徹底したエリア戦略

USENは2001年に光ファイバーサービス「BROAD-GATE 01」の開始後、2005年4月現在で約30万弱のユーザーを獲得している。USENのブロードバンド戦略として特徴的なのは、世帯密集度が高く集合住宅が多い首都圏でサービスを集中展開している点だ。首都圏の住宅は集合住宅が70%を占め、よって入線棟数と棟内加入者数を着実に増加させることにより、効率的なユーザー数拡大を図っている（資料4-1-9）。またUSENはインフラからISP、コンテンツまでを一貫して手がけていることも特徴である。集合住宅における「入線承諾のための営業力」、そして「入線工事力」という、放送事業で得たノウハウを持つ部隊をグループ内に抱えている。もちろんブロードバンドコンテンツは多彩に用意されており、こうした垂直統

合型の構造が業界最安値の低価格を実現する要因となっている。

今後はコンテンツ流通にも注力

早くから個人向け光ファイバーサービスを独自に開始していたUSENであるが、2004年の加入者の伸び率は過去最大となった。このことから、日本におけるFTTHの社会的認知が2004年の1年間で急激に高まったことが見て取れる。USENではこうした全国的なFTTHインフラの拡大を受けて、コンテンツ事業が十分成立できると考え、エンターテインメント系に特化したデジタルコンテンツ事業へ本格参入する構えだ。昨秋にはギャガ・コミュニケーションズを子会社化し、エイベックスらとの業務提携を行った。さらに2005年の3月1日に「有線ブロードネットワークス」から「USEN」に社名変更し、従来の有線放送、カラオケ、ブロードバンド事業から劇的な変身を遂げている。

ストリーミング映像を中心としたコンテンツポータルサイト「ShowTime」では昨夏、いち早く『冬のソナタ』を配信し、話題となった。また「BROAD-GATE 01」会員限定サービス「ひかり座」では、DVD画質でダウンロード配

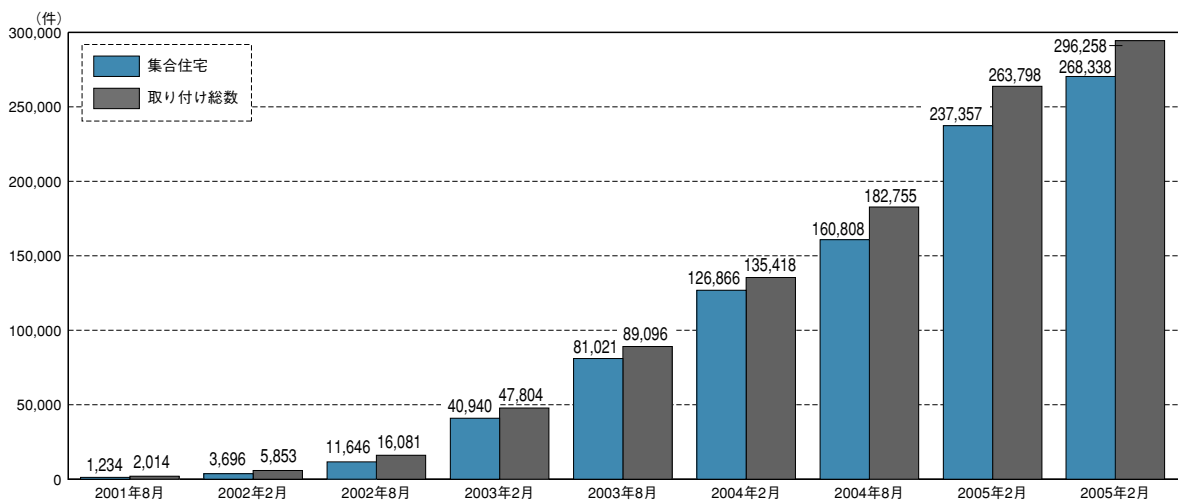
信するハリウッド最新作品やミニシアター系、名画など、常時約100作品、年間300作品を配信している。

こうしたデジタルコンテンツを配信するインフラの種類も光ファイバーに限らない。同軸ケーブル、衛星、ADSL、携帯電話など多彩なチャネルを用意。USENの商品ラインナップとしては、インフラとコンテンツのパッケージ提供にこだわらず、たとえば光ファイバーは月々2,980円で提供し、コンテンツについてはユーザーが自由に選択できるといった仕組みをとっている。さらに、2005年4月にはGyaOというCMモデルによる無料ISPフリー、キャリアフリーの、コンテンツ配信を開始した。ここには、光ファイバーやインターネットにとらわれないことなくあらゆるメディアとコンテンツを有機的に展開させ、新たな波を作っていくというUSENの新構想が表れている。

USENでは今後、FTTHでは引き続き効率性を重視したエリア戦略を展開し、デジタルコンテンツ事業では、全国のユーザーをターゲットとし、大多数に共通するニーズの発掘を手がけていくとしている。

（取材・文/柏木由美子）

資料4-1-9 USENのFTTHユーザー数の推移（取り付けベース）





[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp